

令和8年度 第1回 浜松市立鹿玉中学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 令和8年4月16日(木) 13時30分から15時30分
- 2 開催場所 浜松市立鹿玉中学校 会議室
- 3 出席委員 藤原修、山下恭幸、伊藤祐司、森田智佳、森島しのぶ、西尾孝治
守田亜紀、泉美穂
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 椛通安(鹿玉協働センター)
- 6 学校支援コーディネーター 堀内康博
- 7 学 校 杉浦有美子(校長)、鈴木亮(教頭)、下田由実(教務主任)、
新川優子(CS ディレクター)、太田賢(3学年主任)、
佐藤朋子(2学年主任)、松島一巳(1学年主任)、宗龍二(生徒指導)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 新川優子(CS ディレクター)
- 10 協議事項
(1)令和8年度学校運営の基本方針および教育課程について
(2)浜松市立鹿玉中学校いじめ防止基本方針について
(3)学校支援ボランティアについて
(4)職場体験について
(5)「夢育やらまいか事業に対する意見書」について
(6)生徒会活動について

11 会議の記録

授業参観をした後、会議を開始した。

鈴木教頭から、委員総数9人のうち9人の出席があり過半数に達しているため、浜松市学校運営協議会規則(以下「規則」という。)第14条第2項の規定により、会議が成立している旨の報告があった。熟議に先立ち、会長挨拶、校長挨拶、委員の自己紹介、委員への任命書の交付を行った。また、前年度第4回学校運営協議会の議事内容と自己評価の確認、令和8年度の目標の確認を行った。

(1)令和8年度学校運営の基本方針について

杉浦校長より本年度の経営方針が説明された。学校教育目標は前年度と同じとし、職員や地域とともに子供たちの学びや成長を支えていくことを目指す。前年度の学校評価および全国学力調査の結果から、課題を自発的に解決する力を育むことや新聞購読量の少なさから情報の偏りがあるため外部に目を向ける力を養いたいとのことであった。

以下、3項目についても校長から説明があった。

・部活動の地域展開

浜松市では今年度9月より休日の部活動の地域展開が開始される。本校では、9月以降の方向性が決まっている部活動もあるが、一部では新入生の加入状況をみて進めていく。

・学校と教師の3分類

文科省資料を基に、浜松市でも学校以外が担うべき業務、教師以外が積極的に参画すべき業務、教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務の分類への取り組みを、今後も進めていく旨の説明があった。

・ラーケーション

平日に校外で保護者と学びを行うラーケーションが、年3日まで取得可能になる。事前申請が必要で、行事等で取得できない日は学校によって示される。

これらについて、委員全員意義なく承認した。

次に、教務主任の下田教諭から年間行事が説明された。昨年度からの変更点として定着度テストの実施方法が挙げられた。

(2) 浜松市麓玉中学校いじめ防止基本方針について(生徒指導)

生徒指導の宗教諭より本校の状況について説明された。いじめには未然防止、早期発見・早期対応を目指し、複数で対応している。昨年度は件数としては多かったものの、早期対応により重大事案を未然に防止できている。その他、交通マナーや SNS トラブルの問題にも取り組む旨の説明もあった。

- いじめ対応への先生方の負担は大きい、重大事案発生防止のため、引き続き対応をお願いしたい。(西尾委員)
- 被害者だけでなく加害者生徒や家庭へのケアも必要。(守田委員)
- 表面化していないいじめもあるかもしれない。悪気がなくてもいじめになることもある。何が正しい対応かもわからない。(泉委員)
- データ取りはしているか。(堀内委員)
- 発生から経過観察までの記録を残している。市教委への報告もすることになっている。(宗教諭)
- 「やめて」と言える雰囲気作りができればいい。(森田委員)
- 生徒の登下校でいじめのような光景を目にすることがあるが、声を掛けられない。(伊藤委員)
- 大人の世界で言うハラスメントと同じ。道徳が大切。(副会長)

(3) 学校支援ボランティアについて(鈴木教頭)

昨年度草刈りボランティアを名乗り出てくれた方がいた。今年度は様々なボランティアを募集したい。

- 回覧板でボランティアを募ったらどうか。(守田委員)

(4) 職場体験について(佐藤主任)

今年度は11月25日と26日に計画。昨年度と同じところを中心に、生徒が2日間同じ場所で活動できるようにしたい。

(5) 「夢育やらまいか事業に対する意見書」について(鈴木教頭)

「翔輝祭」の合唱練習での専門家による指導、キャリア教育での講話を考えている。これについて、委員全員意義なく承認した。

(6) 生徒会活動について(生徒会役員)

生徒会役員より昨年度後期の活動を振り返り報告があった。テスト前の自習室の利用が少なかったことやステップアップ月間の反省点を実行に移せていなかったことが挙げられた。今年度前期は学校スタンプラリーを計画している。

- 自分たちのことを自分たちで考えた活動をこれからも続けてほしい。(森田委員)

12 その他報告項等

- ・麓玉協働センター(花オブザーバー)
周辺自治会から中学校周辺に「ゾーン30プラス」設置希望の意見が出ている。
- ・道路拡張に伴う正門付近の工事が6月から開始。
- ・今後の予定
司会から、次回会議は、令和8年7月13日(月)13時30分から開催する旨の報告があった。